



2023

PETS, PLANET AND PEOPLE

健全なエコシステムを育むための
ロイヤルカナンの取り組み

ROYAL CANIN
a division of Mars Petcare

1. トップメッセージ	01
2. はじめに	02
- ロイヤルカナンについて	
- 事業目的	
- 価値観	
- Sustainable in a Generation Plan (持続可能な未来に向けた取り組み)を開始	

健全なエコシステム を育むための ロイヤルカナンの 取り組み

この冊子の数字はすべて2022年のものです。

1 PETS (ペット)	04
1.1. イノベーションによる健康増進	05
1.2. 予防的ケアと知識の共有	08
1.3. 健康とサステナビリティに貢献する研究とイノベーション	10

2 PLANET (地球)	12
2.1. カーボンニュートラルへの歩み	13
2.2. 自然資源への負荷軽減	19
2.3. パッケージ戦略の実施	21
2.4. 環境に配慮したオフィスづくり	23
環境再生型農業:環境目標を達成するための新しい方法	24

3 PEOPLE (人々)	
3.1. アソシエイトのウェルビーイングとインクルージョン	28
3.2. 人的資本への投資	30
3.3. 地域社会との連携強化	32
3.4. ロイヤルカナン財団	33



犬と猫の健康は、1968年にジャン カタリーがロイヤルカナンを設立して以来、私たちの指針です。50年以上にわたり、私たちは原点に忠実であり続けてきました。そして今日、私たちは、栄養学に基づいて犬と猫の健康を実現する企業 (Health Through Nutrition Company)になることを目指しています。

私たちの目標は、私たちのパーパス(存在意義)である「ペットのためのより良い世界」を実現するために、犬と猫の健康にプラスの影響を与えることです。

ペット、人、地球にプラスの変化をもたらすという私たちのコミットメントには、かつてない革新とチームワークが必要です。

そのために、科学主導型のイノベーション精神を中心に結集し、農場からペットのフードボウルまで、新しくインパクトのあるアイデアを育み活用します。製品のライフサイクル全体を通して科学に基づく最新の研究と技術を駆使し、それぞれのペットに必要な栄養を提供し続け、そして今日、炭素効率を高め、リサイクル可能なパッケージへの移行を目指しています。

互恵と責任という価値観に忠実に、保全・再生プロジェクトを推進し、気候変動との闘いに積極的に貢献することで、ペットフード業界の模範になりたいと考えています。そのために、サプライヤーから犬、猫、地球を大切にすべの専門家に至るまで、私たちのエコシステムに関わるすべての人々との連携のもと、これを成し遂げたいと考えています。

これは、情熱的で創造的、かつ多様で専門的な知識をもつアソシエイトのおかげであり、会社のあらゆる部門における数多くの成果の1つになるでしょう。

私たちはともに変化をもたらし、自分たちの事業に誇りを持ち、私たちの活動が、自身たちと未来の世代のために、私たちが暮らす環境の保全に役立っていると確信しています。

セシル ケートン
ロイヤルカナン グローバル プレジデント



栄養学に基づいて犬と猫の健康を実現する企業 (Health Through Nutrition Company)

栄養学に基づいて犬と猫の健康を実現する企業になるということは、ペットのためだけでなく人々と地球のためにも価値を生み出す企業になるということです。そのために、私たちのエコシステムに恩恵をもたらす事業を形成してきました。

ペットの専門家と連携しながら、犬と猫の健康に大きなプラスの影響を与えること、犬と猫の生活の質(QOL)を改善する私たちの能力を測ること、つまりペットが健康で長生きできるようサポートすることが私たちの最終目的です。これは以下によって達成されると信じています。

- ペットの健康を守るため協働し、すべての獣医師、ブリーダー、パートナー、ペットオーナーがそれぞれの役割を果たすことができる豊かなペットエコシステムを育みます。
- ペットの健康を可能にする持続可能な地球をサポートします。ペットは不健全な世界では健康になれません。
- 良い行いをして結果を出していく、ピープルカンパニー(人を大切にする会社)としての役割を果たします。

このようにしてペットの健康に最高の影響を与えたいと考えています。

ロイヤルカナン について

ロイヤルカナンは1968年、南フランスの小さな村で、犬と猫の健康改善に貢献することを生涯の使命とした獣医師、ジャンカタリーによって設立されました。カタリー博士は、皮膚炎の治療を終えても再発を繰り返すジャーマンシェパードがいることに悩んでいました。このことが、ジャーマンシェパードによく見られる皮膚炎を栄養面から解決することを見つけるきっかけとなりました。カタリー博士は栄養の力を信じ、そのビジョンは今日に至るまで私たちのブランドに深く浸透しています。

ロイヤルカナンは創立以来、およそ750種類のフードやサービスを開発し、目に見える健康効果を犬と猫に提供してきました。

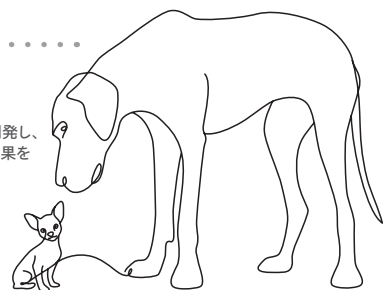
これは、きめ細やかな栄養バランスだけでなく、ペットの専門家との連携によるサービスも提供することにより可能となります。私たちは、科学、観察、パートナーシップにより獲得した知識を世界的に共有し、ペットの健康とウェルビーイングを促進しています。

ロイヤルカナン ブランドのオーナーであるロイヤルカナン社は、マース インコーポレイテッドの一員であり、栄養学に基づいて犬と猫の健康を実現するエキスパートです。

およそ

750

種類の栄養学に基づいた製品を開発し、目に見える健康効果を犬と猫に提供



事業目的

50年以上にわたり、科学と観察を通じて栄養学に基づいたフード製品を開発し、私たちのパーパス(存在意義)を追求してきました。製品は長い年月をかけて進化してきましたが、私たちのミッション(使命)は変わりません。私たちはペットの専門家と協力して、栄養の限界に挑戦し知識を広げることで、個々の犬と猫の健康とウェルビーイングを増進することを目指しています。

「Dog and Cat First(すべては犬と猫のために)」という独自の強力なコミットメントが、犬と猫の“栄養学に基づく健康”の代名詞となるという大きな目標達成を後押ししています。そのために、犬と猫の健康とウェルビーイングに対する情熱を共有するパートナーの期待に応えるべく、卓越性、品質、革新性、倫理性を実現しなければなりません。

ミッション(使命)

ペットの専門家と連携し、栄養と知識の限界を押し広げることで、個々の犬と猫の健康とウェルビーイングを実現します。

価値観

マースの五原則は、私たちが共有する価値観であり、私たちが団結させます。会社の一部であり、会社に主体と結束力、そして生き生きとした精神を与えてくれます。このようなルーツがこれからも、より持続可能な未来に向けて私たちを導いてくれます。



持続可能な未来に向けた取り組み

私たちが持続可能な方法で成長していくためには、漸進的な変化を超えて、ペット、地球、人々のためになる体系的な変革に取り組む必要があります。私たちはマースの社会的影響を特定し、行動を起こすことを目的とする「Sustainable in a Generation Plan(持続可能な未来に向けた取り組み)」に参加し、相互に関連する次の3つの分野に焦点をあてています。



ペット:「ペットのためのより良い世界」という私たちのパーパス(存在意義)を実現するために、責任ある繁殖と責任あるペットの飼育を促進し、犬と猫に対する理解とより良いケアを支援するため、私たちの知識を世界的に共有しています。



地球:循環型経済の原則に沿って、カーボンフットプリントを削減し、パッケージの設計を見直すことにより、ペットオーナーがより持続可能な方法で、ペットに食事を与えられるようにしています。



人々:私たちは、職場や地域社会において人々のチャンスを増やす役割を果たすことができると信じています。

ロイヤルカナンの目標は、国連の持続可能な開発目標(SDGs)に沿ったものです。



犬と猫に目に見える健康効果を提供

ロイヤルカナンは、ペットの専門家やエキスパートと連携し、きめ細やかに設計された栄養バランスとサービスを通じて、犬と猫に目に見える健康効果を実現します。

きめ細やかな栄養バランスには、個々の犬と猫に健康とウェルビーイングをもたらす力があると信じています。そのため、品種、身体のサイズ、年齢、感受さ、ライフスタイル、日々必要なエネルギー量によって異なる栄養ニーズに合わせた製品を提供しています。



私たちは知識とサービスを通じて、犬や猫の健康増進に取り組んでいます。犬と猫の健康を改善するために、パートナーがペットとそのニーズをよりよく理解できるよう世界中で知識を共有することは、私たちのビジネスの基本です。パートナーや顧客に提供するサービスは、こうした知識を深め、エコシステム全体のサービスに役立てることができます。



何よりも、犬と猫のウェルビーイングと健康に貢献することが、ロイヤルカナンの理念と企業文化の核となっています。犬と猫の真のニーズは、私たちの活動を導き、科学の指針となっています。そして、すべてのフードの栄養学的哲学にインスピレーションを与えています。



私たちの活動は国連の持続可能な開発目標に沿ったものです。

イノベーションによる健康増進

ロイヤルカナンは、栄養学に基づいてペットの健康をサポートする企業です。ブリーダーや獣医師などペットの専門家と緊密に連携し、犬や猫のためのきめ細やかな栄養バランスを設計するだけでなく、犬と猫を理解し、より良いケアを行うためのさまざまなサービスやツールの開発にも取り組んでいます。

私たち独自のアプローチは、常に犬と猫の栄養ニーズを製品イノベーションプロセスの中心に置いていることです。ペットの年齢、ライフスタイル、身体サイズ、品種、過敏さ、活動レベルを科学と観察を通じて研究し、それぞれのペットのニーズを満たすフードを設計します。常に最先端の技術と知識を駆使して製品やサービスを改善・開発し、犬と猫の健康増進に役立つ革新的なフードづくりを実現します。

「最適な健康状態は個々のペットによって異なります。ペットの食事はこのような微妙な違いに対応すべきであると考えています。」

私たちのイノベーションには、フードの栄養設計を超えて、キブル(フードの粒)のサイズ、形状、食感、お届けするためのパッケージ、また、それらに付随するサービスが含まれます。

品質に妥協しない

ペットの健康とウェルビーイングは、ロイヤルカナンの最優先事項です。私たちは製品が現地の法律や規制だけでなく、自社の徹底した品質や食品安全の要件を満たしていることを保証する責任があります。

すべてのサプライヤーに対して品質監査を実施し、毎月数千件の品質チェックを行っています。世界中で毎年、35万件の検査分析と150万件の品質チェックが食品安全・品質基準に従って行われます。

原材料は私たちの厳格な基準に100%適合したものののみが使用されます。

製品はすべて、業界標準(ISO 9001、22000、12001、14001、適正製造規範「GMP」、食品衛生の一般原則「GHP」)およびその他20を超える社内品質基準に準拠して製造されます。これらの基準への準拠は、内部または第三者監査によって年に数回評価されています。



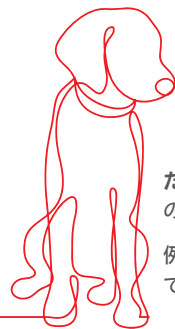
当社の環境管理システムは、研究開発および製品設計のすべての段階について、ロイドレジスター クオリティ アシユアランス(LRQA)によるISO 14001認証を取得しています。ヨーロッパにおけるグローバルな調達および製造活動についても認証を取得しています。ほぼすべての工場がISO 14001の認証を取得しており、2025年までに製品設計から物流まで世界中の活動について認証されるべく取り組んでいます。

▶ ペットの顎の形態や摂食行動に適応したキブル(フードの粒)

ドライフード、ウェットフード、セミモイストフード、インスタントミルク、流動食など、私たちが開発する様々なタイプのフードを通じて、ペットの健康に与えるプラスの影響をさらに高めることができます。

ドライフードでは、犬・猫の解剖学的特徴と摂食行動に合わせてキブルの大きさや形状を調整し、フードを適切に口に入れ、咀嚼し、消化できるようにしています。例えば、ラブラドルレトリバーのキブルは真ん中に穴を開け、噛み砕きやすいように容積を大きくしています。

これは、特にガツガツ食することでよく知られているこの犬種にとって、食べるスピードを抑えるのに役立ちます。



▶ 目に見えないパターンを明らかにするテクノロジー

私たちのサービスの中には、ペットのニーズを特定するための診断ツールがあり、慎重に設計およびテストされた栄養学に基づいたフードを提供することができます。

アルゴリズムや複雑な数学的手法を駆使し、個々に最適な栄養バランスがもたらす健康を実現することを目標としています。ペットのウェルビーイングの変化の初期指標となるような、目に見えないパターンを明らかにする技術です。

例えば、RENAL DETECT(腎臓病検査ツール)という診断ツールを使用することで、獣医師は臨床兆候が現れる前に猫の腎臓病のリスクを評価することができます。猫にとって最適な栄養と環境を整えることができるだけでなく、より早くかつ迅速なフォローアップを行うことができます。(※日本未導入)

▶ ロイヤルカナン インディヴィジュアリス 個々の犬・猫に合わせた テイラーメイドフード

最適な健康状態は個々のペットによって異なります。ペットの食事はこのような微妙な違いに対応すべきであると考えています。

2019年ロイヤルカナン インディヴィジュアリスの発売により、私たちはこれまでにないきめ細やかな栄養バランスを提供し、犬や猫の個別の健康ニーズに応えることができます。



この新しいサービスは、獣医師が個々のペットに適した栄養バランスを提供するための科学的、技術的に大胆な取り組みです。目的は、年齢、体重、疾患に関連する危険因子、病状を考慮して、個々の犬と猫にテイラーメイドのフードを提供することです。

ロイヤルカナン インディヴィジュアリスは、獣医学の専門知識とロイヤルカナンの栄養学の知識を組み合わせることで、テイラーメイドの食事を共創することができます。獣医学データを当社のアルゴリズムに入力し、そのペットに最適なフードを決定します。

▶ テイラーメイドの食事を実現

私たちは、イノベーションが犬と猫の健康とウェルビーイングに具体的な効果をもたらすことが可能なあらゆる分野に目を向けています。

獣医師が特定の健康状態を管理することに貢献したり、専門家がチャンピオン犬・猫の最高のパフォーマンスをサポートするためのフードを設計しています。

特定のニーズや用途に特化した犬や猫のフードを開発することで、知識の限界を押し広げ、科学的、技術的栄養のノウハウをすべての製品に活用することができます。



● ビリアシストは柔らかく形状を簡単に換えられる生地で作られています。薬を包んで隠すことができるため、薬を上手かつ容易に投与できるようになります。

● ロイヤルカナン リキッド シリーズには、チューブフィーディングを容易にするために特別に設計されたキャップが付いていて、シリンジをさして直接ボトルから注入することができます。

● パピープロテックは、生まれて間もない犬の免疫力を強化するために特別に設計された画期的な初乳サプリメントで、ミルクの代替品です。パピープロテックは、生まれて間もない犬に必要なエネルギー供給と免疫力維持の両方に対応し、生後間もない時期の数週間をサポートします。



予防的ケアと知識の共有

知識を発展させ、世界的な共有をすることが、私たちの優先事項です。科学、観察、パートナーシップのおかげで、私たちはペットのウェルビーイングを促進するために、ペットオーナー、獣医師、ブリーダー、その他の業界主要関係者と共有する知識を得ています。

肥満を減らすための獣医師との連携

ペットの健康問題の世界第1位は肥満です。世界中の犬と猫の40%以上が太り過ぎか肥満です。ロイヤルカナンでは、コミュニケーションキャンペーンを通じてペットの肥満に対する意識を高め、健康的な習慣を促進することで、肥満のペットの数を減らすという大きな目標を掲げています。重要なパートナーである獣医師と連携し、体重管理における獣医師の役割をサポートするツールを提供しています。

ブリーダーとのパートナーシップ

ここ数年、違法繁殖が増加しており、ペットにとってもブリーダーにとっても深刻な脅威となっています。健康で衛生的な環境で飼育されず、社会性も身につけず、ペットオーナーとなる人との相性も考慮せずに販売された場合、ペットの健康に影響を及ぼします。

ブリーダーの健全で持続可能な活動を支援するために、責任ある繁殖、責任あるペットの取得、責任あるペットの飼育に対する意識を高めることに重点を置き、PROactive(プロアクティブ)という取り組みを展開しています。カンファレンス、デジタルコース、実践的なアドバイスを提供し、現地のロイヤルカナンアソシエイトのサポートのもと、ブリーダーの知識と専門性を高めています。

デジタル繁殖プラットフォームであるRoyal Startプログラムは、PROactiveプロジェクトの一環として、2022年、世界の82%の市場で開始されました。現在、1万7,000名のロイヤルカナンブリーダーがこのプラットフォームに登録し、1万2,400名のブリーダーがプログラムの公式ユーザーとして、67万1,000頭のペットを登録しています。(※日本未導入)

MORE THAN
40%
世界中の
犬と猫の40%以上が
太り過ぎか肥満。



ONLY
40%
犬の60%は動物病院で
受診しているのに対し、
猫はわずか40%

予防を啓発 猫のケア

Take Your Cat to the Vet(TYCTTV:猫を病院に連れて行こう)という活動は、ニールセンの調査と当社の内部調査から得られた結果を受けて、2015年に開始されました。この調査では、犬の60%が獣医師の診察を受けているのに対して、猫ではわずか40%にすぎないことが示されました*。

しかし、年1回または年2回の受診による予防的ケアは、猫の健康とウェルビーイング全般にとって重要です。ロイヤルカナンのTYCTTVの取り組みは、動物病院で受診することの重要性について猫オーナーの認識を高め、猫がより楽しく受診できるよう動物病院の対応をサポートすることが目的です。

現在ロイヤルカナンはこの取り組みの展開をさらに数カ国増やしています。ISFMやAAFPと提携して、少なくとも8年間はプロジェクトを継続し、この問題に関する意識を高めていきます。

TYCTTVは、互惠の原則に基づき、猫のケアを行うエコシステムに関わるすべての人々と相互の利益を共有し、この空間に価値を創造することを目指しています。



(*) 出典：世界中の猫のプライマリーケア従事者4,437人を対象としたペットオーナーと獣医師との関係に関する研究(SKY agency, 2018)



この取り組みを開始した最初の市場はロイヤルカナンUSでした。ロイヤルカナンUSは、360度マーケティングプランを策定して消費者を教育し、アソシエイトにTYCTTVを広めることを奨励し、獣医師をソリューションの中心に据えました。

ロイヤルカナンUSは、バンフィールド動物病院やPetSmart、Chewyなどの小売パートナーと連携して、2021年だけで20万件の無料の獣医師による診察を提供し、保護猫が獣医師による治療を受けられるよう支援する慈善団体に5万ドルを寄付しました。また、有名な猫の保護活動家であるKitten Ladyが猫の専門家にインタビューする8部構成の教育Webシリーズを放送しました。

TYCTTV(猫を病院に連れて行こう)・PROactive(プロアクティブ)



20カ国 以上で実施



デジタル繁殖プラットフォームであるRoyal Startプログラムは、PROactiveの一環として2022年に世界の82%の市場で開始

ROYAL START

82%



MORE THAN
4,000

ISFMとAAFPによる
4,000以上のキャット
フレンドリークリニック
が猫と猫オーナーに可能な
限り適切なサポートと
獣医療を提供

TODAY
17,000

現在、このプラットフォームには1万7,000名のブリーダーが登録、1万2,400名のブリーダーがプログラムの公式ユーザーとして67万1,000頭のペットを登録

健康とサステナビリティのための 研究とイノベーション

最先端の研究開発

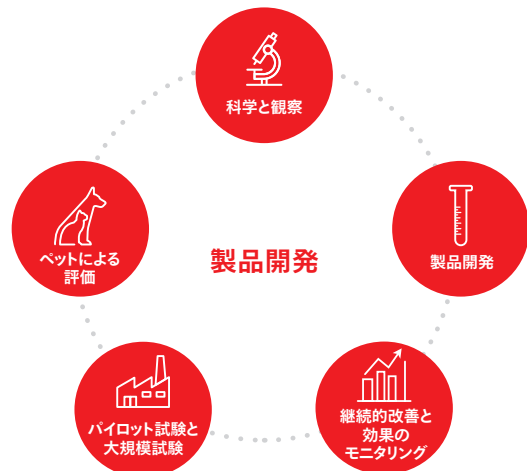
栄養学に基づいて犬と猫の毎日のウェルビーイングを増進するため、ロイヤルカナンは、各イノベーションの開始から動物のニーズを製品開発プロセスの中心に置く科学的アプローチを採用しています。

フードづくりの中心にあるのは観察です。2つのペットセンターでは、犬や猫についての知識を深めています。犬や猫を飼育して継続的に観察し、健康とウェルビーイングの観点から研究しています。

嗜好性、消化性、摂食行動を分析する一方で、無理を強いるようなテストは一切行いません。ペットセンターは、ペットに刺激、レクリエーション、運動を提供するよう設計されています。この施設で飼育されているペットはすべて、施設内で包括的な獣医療を受けており、施設滞在後は愛情あふれる家庭に引き取られます。(25ページ参照)

CLOSE TO
400
約400名のアソシエイトが
ロイヤルカナンで研究開発に従事

FROM
13
4大陸13カ国から



研究開発(R&D)チームは、ペットの栄養学と観察の分野において常に最新情報を積極的に取得し、科学論文や最新の発見に貢献しています。これはペットの健康増進という共通の目標を共有するさまざまな分野でイノベーションを起こすのに役立っています。

私たちは、デザイン思考、リーンスタートアップ、グロースハックといった方法論を用いています。動物の健康に革命をもたらす人工知能で前例のない革新的イノベーションにも着手しました。

アルゴリズムと複雑な数学的手法により、個々の犬や猫に具体的な健康効果をもたらすという目標に向けて、限界を押し広げることができます。

また、研究開発はより低炭素な製品規格や、より循環型のパッケージの開発においても主導的役割を担っています。

出版物を通じて知識を共有

ロイヤルカナンの原点は科学と観察にあり、知識が常に私たちの事業の中心であることを意味します。犬と猫に質の高い栄養バランスを提供するだけでなく、出版物を通じて知識を習得・共有するためにもこうした知識を活用しています。これらの出版物は、私たちだけでなく、ペットオーナーやペットの専門家が犬・猫についてより深く理解し、より良いケアを行うために役立ちます。

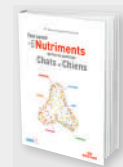
2022年には、ステークホルダー向けの雑誌やガイドブック、百科事典などを数十冊発行しました。その中から特に誇りに思う5冊をご紹介します。



▶ **Veterinary Focus Magazine:**
獣医学の専門家と知識を共有する雑誌
<https://vetfocus.royalcanin.com/>

▶ 犬の被毛に関する書籍:
用語から遺伝学まで、犬の毛色に関する専門家のための実用ガイド。

▶ **Everything You Need To Know About The Role Played By Nutrients For The Health of Cats & Dogs** (犬と猫の健康のために栄養が果たす役割について知っておくべきすべて): 犬と猫の健康に必要な各栄養素のレビュー。著者: Dominique Grandjean教授(フランス・アルフォート国立獣医学学校スポーツ・繁殖医学ユニットディレクター)

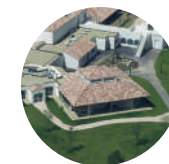


▶ **責任あるペット飼育に関するパンフレット:**
ペットの生活を豊かにし、ペットオーナーとしての経験を豊かにするための実用的な情報とアドバイスを掲載した冊子



▶ **百科事典:**
ロイヤルカナンは1997年に最初の犬百科事典を出版。2021年、世界中の科学者、獣医師、犬の専門家による共著で、最新版を出版

2つのペットセンター



エマルグ
ペットセンター

7ヘクタール



210頭
以上の猫

160頭
以上の犬



42名の
アソシエイト



ルイスバーク
ペットセンター

51ヘクタール

74名の
アソシエイト

170頭
以上の犬



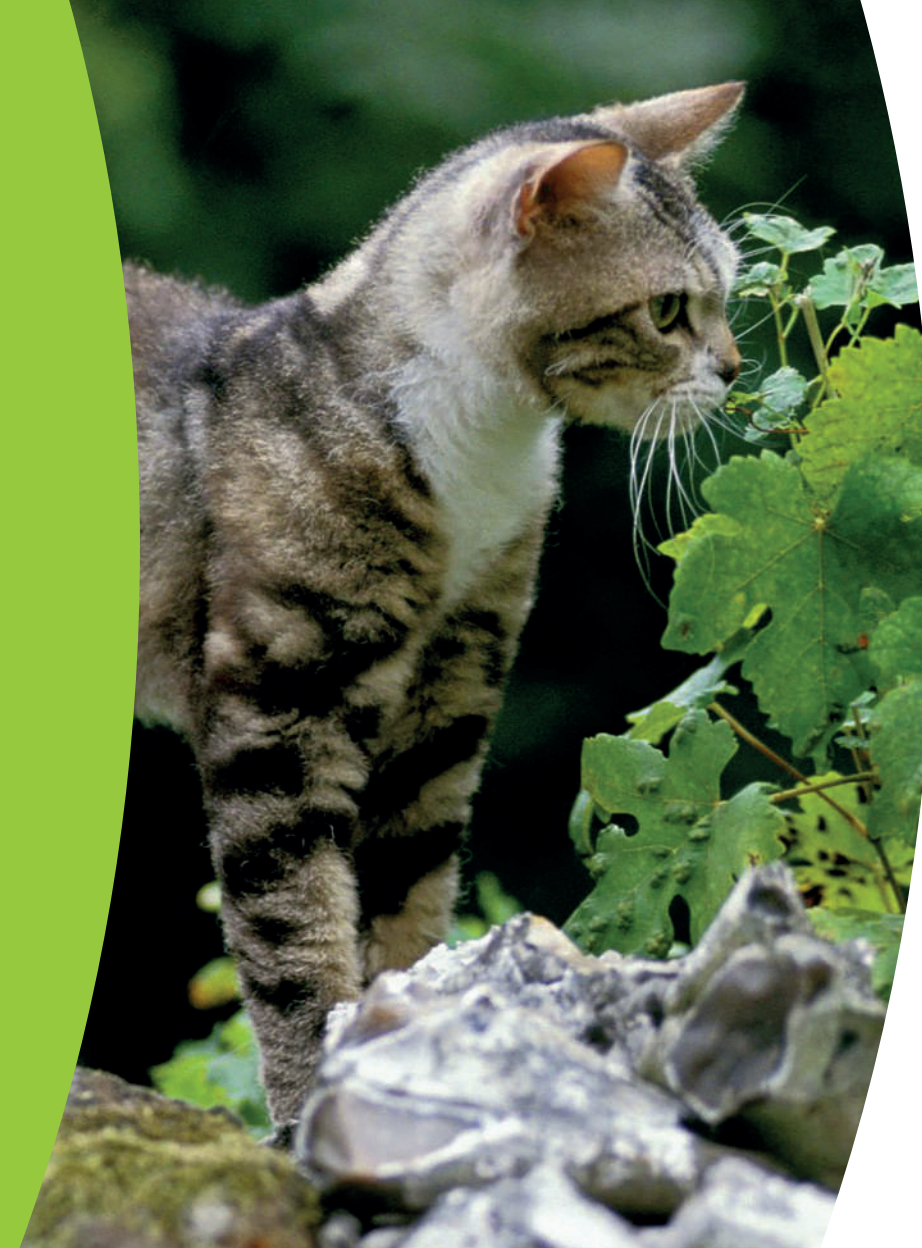
220頭
近くの猫

地球環境への 負荷軽減に貢献

2022年、気候科学者たちは、気候変動に関する政府間パネル (IPCC)を通じて、エコシステム、生物多様性、ヒューマン・コミュニティに注目し、気候変動影響評価報告書*を公表しました。緊急対策の必要性に関する科学的合意は明確です。

ペットフード業界の主要プレーヤーとして、環境フットプリントを低減し、次世代のために持続可能な未来を築くことが私たちの責任です。気候変動は、必要なフードや栄養素の取得とともに、ペットの健康、生活や遊びの環境を脅かします。そのため、気候変動との闘いはペットのウェルビーイングにとっても非常に重要です。

* <https://www.ipcc.ch/report/ar6/wg1/>



カーボンニュートラルへの歩み



環境フットプリントを改善するため、2021年10月、ロイヤルカナンブランドは、2025年末までにカーボンニュートラル認証を取得することを表明しました。

ロイヤルカナンは、国際的に認知された堅牢なカーボンニュートラル規格PAS2060を用いて、この取り組みについて透明性のある報告を定期的に行います。

2023年にSCSグローバルサービス⁽¹⁾によるカーボンニュートラル認証を取得した最初の製品群:バース&グロースシリーズ

「私たちは、気候変動対策は将来世代のために必要であると考えており、この取り組みに貢献することは私たちの責任です。この道のりが容易ではないことは承知していますが、世界中のバリューチェーンパートナーとともにフットプリントを削減する行動を起こし、必要な投資を行うことをお約束します。」

Fabrice Mathieu,
ロイヤルカナングローバル サステナビリティ ディレクター

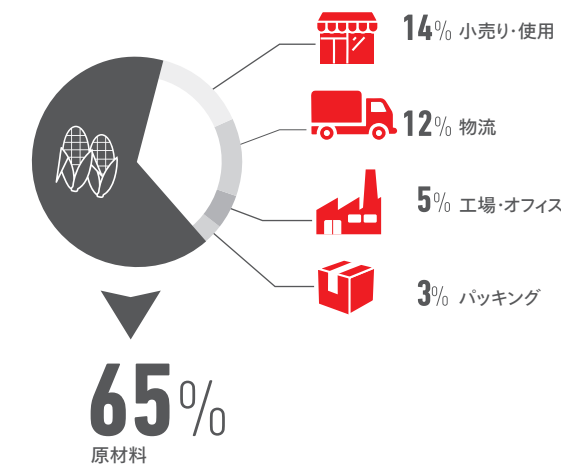


(1) SCSグローバルサービスによるカーボンニュートラル認証(Qualifying Explanatory Statement According to PAS 2060: 2014 Commitment to Carbon Neutrality)<https://mars.com/about/policies-and-practices/mars-carbon-neutral-brands>

カーボンフットプリントの測定

カーボンニュートラルに向けた取り組みの第一歩として、農場からペットのフードボウルまで影響を評価し、CO₂排出量を定量化して、どのように削減できるかを理解することでした。

バリューチェーンの各段階のCO₂排出量分布



カーボンフットプリントの削減

カーボンニュートラルに向けた取り組みの最優先事項はCO₂排出量を削減することです。私たちは、2050年までにバリューチェーン全体で温室効果ガスの排出量をネットゼロにするというマース インコーポレイテッドのコミットメントの一翼を担っています。CO₂排出量削減への貢献とは、製品の炭素強度を2020年を基準として、2025年までに9%削減することです。

私たちは、炭素除去系クレジットを購入するとともに、炭素強度削減を推進するためにいくつかの重要な対策を講じています。



エネルギー消費を全体的に削減しながら、2040年までに再生可能エネルギー(電気・熱)100%を達成することで再生可能エネルギーへの移行を図ります。

2022年、ロイヤルカナンは工場の電力需要の73%を賅うのに十分な再生可能電力を調達しました。2040年までに再生可能エネルギー100%を達成するため、ロイヤルカナンは韓国工場に設置されているようなハイブリッド乾燥機などの新技術の開発・導入も進めています。この乾燥機により、工場のエネルギー消費を削減し、非再生熱エネルギーから、再生可能な供給オプションを幅広く利用できる電気エネルギーへの移行を管理できます。乾燥機1台当たりのエネルギー消費量を25%削減したいと考えており、これは、ドライタイプのペットフードの製造ライン全体のエネルギー使用量を約10%削減することになります。

廃棄物の削減と、リサイクル・堆肥化・再利用可能なパッケージの使用による循環性の向上

ロイヤルカナンは、例えば、単一素材パッケージやパッケージにリサイクル素材を組み入れることにより循環性を高めています。さらに2015年以降、すべての工場に廃棄物埋め立てゼロを実現しています。段ボールや金属は現地でリサイクルされ、食品廃棄物は堆肥化、エネルギー回収を伴う焼却、またはエネルギーを生産するメタン化プロセスにかけられます。残りの混合廃棄物は焼却してエネルギーが回収されます。

(パッケージに関する詳細は21ページ参照)



科学に基づいた栄養哲学により、原材料のカーボンフットプリントを考慮して、カーボン最適化レシピを設計

各製品は世界共通の特定の栄養組成となっています。しかし、栄養組成に対応するために使用する原材料は、地域や工場によって異なり、現地で入手可能な原材料を使用します。

私たちは、約750種類の栄養学に基づいた製品のひとつひとつのカーボンフットプリントおよび土地や水利用への影響を把握し、原材料の選択を最適化することができます。例えば、製品の温室効果ガス排出量を削減するために、米の一部を小麦やトウモロコシに置き換えているレシピもあります。実際、例えば、World Food Life Cycle Assessment (世界食品ライフサイクルアセスメント)データベースによると、米国で米を栽培すると、小麦の2倍、トウモロコシの3倍近くの影響があります。



持続可能な資源からより気候変動に配慮した原材料の調達およびサプライヤーのより持続可能な慣行への移行を支援

▶ **副産物の利用**
(詳しくは21ページを参照)

▶ **サプライヤーの気候変動対策の取り組みと科学的根拠に基づいた目標設定**
ロイヤルカナンの気候変動に対する目標を達成するには、サプライヤーの他、サプライチェーンの川上の関係者もカーボンフットプリント削減に取り組む必要があります。科学的根拠に基づいた気候目標(SBT)をすでに設定して影響を減らすために熱心に取り組んでいるサプライヤーもいます。また、私たちは気候変動対策を始める多くのサプライヤーを支援しています。

主要サプライヤーは、マース インコーポレイテッドの取り組み「Pledge for Planet」^[2]に参加しています。この取り組みは、自社のフットプリントの特定、科学的根拠に基づく目標設定、削減推進計画の実施を支援します。この支援は、マース インコーポレイテッド、ペプシコ、マコーミック、気候変動対策コンサルティング会社のガイドハウスが2021年に開始したプログラム「Supplier Leadership on Climate Transition [S-LOCT] (気候変動に関するサプライヤーのリーダーシップ)」を通じて実施されています。以来、ネスレ、コカ・コーラ、モンデリーズなど多くのブランドがこの企業間連携に参加しています。

▶ **環境再生型で気候変動に配慮した農法への転換支援**
ロイヤルカナンの環境負荷の大部分は、使用するごく一部の原材料に集中しています。

実際、原材料サプライチェーンにおける温室効果ガス排出量の3分の2は、トウモロコシ、家禽、米、魚介類、大豆、小麦の6つの原材料に起因しています。これらの原材料が環境に与える影響は、原産地と現地の農法によって決まります。

原材料は可能な限り工場の近くで調達しています。工場から平均1,500km以内で原材料を調達しています。さらに、サプライヤーと協力して、サプライチェーンの川上の農家が環境再生型の気候変動に配慮した農業に移行できるよう支援することで、カーボンフットプリント削減に取り組んでいます。このような実践によって、カーボンフットプリントを低減するだけでなく、生物多様性、土壌の健康、気候変動に対するレジリエンス(強靭性)を向上させることもできます。例えば、ヨーロッパでは、定評のある農業企業、Soil Capitalと連携し、気候変動に配慮した農業を実践する農家の意欲を高め、研修を行い、報酬を与える支援を行っています。こうした実践によって、隔離および削減を通じてCO₂排出量を低減し、土壌の健康、水と気候のレジリエンス、生物多様性の向上を目指します。Soil Capitalと連携し、私たちは現在、フランスで250近くの農家と環境再生型農業に取り組んでいます。(詳しくは25ページを参照)

[2] www.mars.com/news-and-stories/press-releases-statements/mars-global-coalition-suppliers-climate-action



Soil Capitalとのプログラムでは、年間平均でおよそ15万トンの温室効果ガス排出量削減が見込まれ、自動車3万台を1年間使用しないことに相当します。これは、ロイヤルカナンサプライチェーンの農家が、最大でルクセンブルクよりも広い30万ヘクタールの農地で環境再生型農法を採用することを支援するものです。

▶森林破壊の防止に貢献

森林破壊と土地利用の変化も、優先的に取り組むべき重要な分野です。ロイヤルカナンが直接購入する原材料関連の森林破壊リスクに対処するだけでなく、家禽の飼料に使用される大豆などの間接的な原材料の調達において森林破壊活動が行われなないようにするためにサプライヤーと緊密に協力しています。

大豆は、森林破壊を引き起こしたり、土地利用の変化に影響を与えたりするリスクの高い原材料です。

ProTerra認証により、人権尊重の推進、サプライチェーンの人々の労働条件の改善、生物多様性保全への貢献、適正な農法の推進を行います。

紙の調達については、森林への負荷を軽減するため、再生紙の使用を増やすよう努めています。世界全体で、2022年には平均86%以上の再生紙を使用しました。残りの非再生紙については、繊維の原産地が合法であり、近年の森林破壊と関連がないことを保証する堅牢な認証(FSC、PEFC)を義務付けています。また、森林劣化を制御するために適切な森林管理を促進しています。

2020年以來

- ヨーロッパの工場で調達するブラジル産大豆の100%は近年の森林破壊とは無関係です。私たちは持続可能な農法を促進し、森林破壊の阻止に貢献する独立した基準であるProTerraによって認証された大豆の物理的に分離された供給により、これを保証します。

- 他の工場で使用される残りのブラジル産大豆は責任ある大豆に関する円卓会議(RTRS)直接のクレジットですべてカバーされています。

- 全体として、川上の大豆サプライヤーの100%がアマゾン大豆モラトリアムを完全に遵守しています。

アウトバウンド物流の最適化
物流業務の見直し

3つの柱に基づくアウトバウンド物流の脱炭素化戦略:

- ▶ サプライチェーンネットワークを再設計。例えば、工場、物流センター、顧客への配送先の場所を最適化する。北米では物流網を再評価し、地域の排出量を大幅に削減するための変更を導入し始めています。このようなプロジェクトは現在ヨーロッパでも進行中であり、効果が期待できます。

- ▶ 主要な第三者物流(3PL)業者との協力して物流排出量を削減。これは以下の取り組みを通じて進められています。

- 電化およびバイオガス、水素の利用
- 負荷の統合
- 燃料効率化
- 再生可能エネルギーの倉庫

- ▶ ロードマップの構築と物流管理者チームのトレーニング。各市場のチームが排出量削減を目的とした物流アクションのロードマップを構築しています。

例えば、フランスでは、パートナーであるTrans Service Locatrans-TSL Satisfactionとともに、マルグリット物流センター(Marguerittes Distribution Center)で初のバイオ燃料を使用したトラックの走行を開始しました。Oleo100によって認定されたこの石油代替燃料は、今までのところ非常に好評です。同じサービスで菜種の副産物から作られるため、人の食料と競合することがなく、ディーゼル燃料に比べカーボンフットプリントを60%削減できます^[3]。



気候変動を事業モデルに組み込み、社内外の温室効果ガス削減を支援するために、働き方をアップデートして、働き方を変革します。

変化に全面的にコミットする職場環境を醸成します。



▶アソシエイトの意識向上とスキルアップ

- 一般的なサステナビリティトレーニング: サステナビリティ戦略と優先事項を全員が理解できるよう、2022年にロイヤルカナンがアソシエイト向けに展開を開始しました。
- 「Climate Fresk」^[4]: 気候変動とは何か、個人として、またロイヤルカナンとして誰もができることを学ぶワークショップ。このコースは2022年9月に開始され、これまでに300名のアソシエイトが受講しています。
- スマートフレートセンター(Smart Freight Centre)と共同開発した4時間のトレーニングコース:(社外も含めて)すべての人が利用可能。2022年には、200名以上のアソシエイトを代表するロジスティック マネージャーがトレーニングを受けました。

▶カーボンフットプリントを業績評価基準に含める。

- 役員報酬の一部は気候変動目標に関連しています。
- 研究開発と協力して、カーボンフットプリントを含むサステナビリティ基準をイノベーションプロセスに組み込むことに取り組んでいます。これにより、環境負荷を考慮した意思決定が可能になるとともに、長期的な改善を追跡できます。

- Sweep^[6]というCO2排出量管理プラットフォームを使用して、包括的な気候変動戦略を策定しています。このプラットフォームは、58の市場におけるカーボンフットプリントの測定、追跡、報告を支援し、CO2排出量の大規模な削減に向けて、グローバルネットワーク内のすべての関係者を活用できるようにします。

[3] Oleo100 : <https://oleo100.com/la-durabilite/> [4] <https://climatefresk.org/> [6] <https://www.sweep.net/>

▶ 認証

カーボンニュートラル認証プロセスの一環として、製品のフットプリントと削減量を第三者機関によって検証しています。2023年、「バース&グロース シリーズ」で最初に達成した認証を取得しました^[7]。

 炭素除去系クレジットの購入

除去系クレジットは、大気からCO₂を吸収または回収するプロジェクトや活動から生まれたものです。

私たちは、カーボンクレジットで相殺する代わりに、温室効果ガス排出削減の割合を徐々に増加させ、その結果、全体として必要なカーボンクレジットの量を減らすことを目指しています。2023年、ロイヤルカナンプランドは製品として最初のカーボンニュートラル認証を取得しました。バース&グロース シリーズ、フィーライン ケア ニュートリション シリーズ、マルチーズ専用フード^[7]です。2022年のカーボンニュートラル認証を取得するため、48万6,000トンCO₂に相当するカーボンクレジットを購入し、償却しました。このカーボンオフセットは、VCSプロジェクト基準およびACR法に照らして検証されました。

これらの手法は、購入によるオフセットが本物で追加的な温室効果ガス排出削減になっていること、およびオフセットを提供するプロジェクトが(通常業務を超えて)追加性、永続性、漏れ、二重カウントの基準を満たしていることを保証します。

▶ 2022年に支援したプロジェクトは以下の通りです:


- ウルグアイの荒廃した草原での植林
- 米国での森林再生
- チリの荒廃地での森林再生
- 中国での植林

CO₂除去に加えて、これらのプロジェクトは、鳥類モニタリング、地域の生物多様性向上、家畜の健康増進、地元農家の収入向上など、持続可能な開発全体にも貢献しています。



なぜカーボンクレジットを使用するのか?

- 私たちは地球規模の気候変動対策に一刻も早く貢献したいと考えています。大気中からの炭素除去に基づく現実的で耐久性があり、社会的に有益なカーボンクレジットで残留排出を中和することは、SBTi Net Zero Foundationsの論文に沿うように、短期的に炭素収支のバランスをとるのに役立ちます。
- 高品質な炭素除去系クレジットを使用することは、カーボンクレジットの市場規模を拡大し、マース インコーポレイテッド ネットゼロコミットメントに貢献する自然ベースおよび技術ベースの解決策の促進に役立つと信じています。
- カーボンニュートラル認証、そして間接的なカーボンクレジットの利用は、気候変動対策を私たちの事業モデルに組み込み、この重要な問題に対するアソシエイト(社員)、パートナー、消費者の意識向上に役立ちます。

 <https://www.mars.com/about/policies-and-practices/mars-carbon-neutral-brands>

天然資源への負荷低減

責任ある水利用に向けて

ロイヤルカナンが原材料を調達する農業生産システムは、十分な水の確保に依存しています。地域社会、農家、事業、自然への持続可能な水供給の確保を支援することは、2025年までに最も水ストレスの課題に直面している製造拠点で水のバランスを達成するというロイヤルカナンのコミットメントの重点分野です^[8]。15工場のうち2工場(フランスのカンブレ、南アフリカのヨハネスブルグ)が「水ストレス地域」にあります^[9]。水ストレス地域では、ドライクリーニングなどの対策により、2019年の基準に対して水使用量を増やさないと目標としています。ロイヤルカナンは、水のバランスを達成することで、排水の処理と再利用を通じて、また流域からより多くの水を利用できるようにすることで水ストレスを軽減する共同の水プロジェクトに取り組むことによって、現地で使用されるすべての水量が確実に一致するよう努めています。さらに、マース インコーポレーテッドは、2021年、国連グローバル・コンパクト「The CEO Water Mandate」の水レジリエンス・イニシアチブ(WRC)に参加し、30社以上のグローバル企業とともに、世界的な水危機に対する取り組みを推進しています。WRCは、水と気候の危機に対する革新的な解決策への投資を増やし、水ストレスの高い地域における水レジリエンスを構築する共同行動の奨励を目的としています。

▶ 責任ある魚の調達 海を守る

世界の水産セクターは、世界中の人々の食料安全保障、栄養、収入にとって不可欠です。世界自然保護基金(WWF)は、海洋の財とサービスは、年間2兆5000億米ドルの有形資産価値があるとしており、これは世界第7位の経済大国に相当します。OECDによると、世界中で30億人以上の人々が生活の糧を海に頼っています。魚は健康的で栄養価が高く、高品質なペットフードの重要な原材料でもあります。健全な海だけがこの経済のエンジンを回し続けることができます。しかし、世界中の多くの漁業は、乱獲によって大きな脅威にさらされています。国連食糧農業機関(FAO)によると、評価された野生魚の個体数の3つに1つは、乱獲または基準を超えて捕獲されています。マース ペットケアは世界の水産物市場においてわずかなシェアしか占めていませんが、2010年にWWFと提携し、責任ある魚の調達ガイドライン^[10]に沿って魚を調達することを表明しました。

生物多様性の促進と絶滅危惧種の保護に貢献しながら、業界の環境・社会的活動の改善を推進することを目指しています。

WWFと協力し、進化するベストプラクティスに沿って、過去10年間にわたり、魚の調達に対するアプローチを見直し、革新し、規模を拡大し続けてきました。

[8] <https://www.mars.com/news-and-stories/press-releases/mars-pledges-achieve-water-balance-high-water-stressed-operations>

[9] 世界資源研究所のAqueduct(アキダクト)より。 <https://www.wri.org/aqueduct>

[10] <https://www.mars.com/sites/g/files/jydpjr316/files/2023-04/Mars%20Responsible%20Fish%20Sourcing%20Guidelines.pdf>

[7] <https://www.mars.com/about/policies-and-practices/mars-carbon-neutral-brands>

私たちの戦略が目指すこと

Reduce(軽減) 魚の生態系への影響を軽減し、人間の食物連鎖との競争を最小限に抑え、食料安全保障への取り組みを支援し、絶滅危惧種を調達しないことを保証します。

Reward(報酬) 当社の「責任ある魚の調達ガイドライン」に沿った魚の調達に報酬を与えます。

Restore(回復) 協働によって重要な生息地を回復・保護し、地域社会と連携して沿岸生態系のサンゴ礁を回復し、漁業改善プロジェクト(FIP)を支援します。

Respect(尊重) タイを中心に水産業に従事する人々の人権を尊重します。

責任ある漁業と加工ユニット、新しい漁業技術に関する知識を深め、安全性を確保し、魚の生産者の収入を増やし、これからの世代に十分な魚を供給することを目的としています。

▶ 栄養素の供給源として副産物を使用

動物由来と植物由来、両方の副産物を使用しています。これらの副産物は、タンパク質、脂肪、ミネラル、ビタミンの優れた供給源であり、臓器や筋肉を修復、再生させる必須アミノ酸を供給し、免疫系をサポートしてエネルギーを供給するのに重要な役割を果たしています。この持続可能な実践は、無駄を防ぎ、家畜生産への負担を軽減し、農家支援に役立つとともに、人間が消費する食料価格を下げることもつなげられます。さらに、人間の食料との競争を避けることにも貢献します^[11]。これは循環型経済への貢献を支えます。

例えば、ロイヤルカナン アミノペプチドフォーミュラ シリーズは食物アレルギーのペットの栄養摂取を長期的にサポートする革新的な食事療法食です。この製品のタンパク質は特別に加工された家禽の羽毛からつくられています。アミノペプチドフォーミュラのタンパク源として、(人間の食物連鎖では使用されていない)非常に高度に加水分解された代替タンパク源を選択することで、より持続可能なサプライチェーンを構築しています。この羽毛を廃棄物として捨てずにアップサイクルすることで、人間の食品産業との競争を減らしつつ、抽出して利用できるものを最大限に活用し、最終的に世界の食料安全保障に貢献することができます。



魚油から藻油へ
魚油に含まれるオメガ3脂肪酸(EPA/DHA)が細胞膜の形成を助け、脳、目、神経など神経系の発達に重要な役割を果たす栄養素であるように、魚はペットフードの重要な原材料です。海洋生態系への負荷を軽減する戦略の一環として、ロイヤルカナンは2022年からヨーロッパで一部の製品について魚油を藻油で置き換えることを開始しました。実際にEPA/DHAの代替供給源になり得るさまざまな微細藻類を特定しました。この代替材料を使用して、ロイヤルカナン製品で使用する魚の量を減らします。



責任ある漁業に関する知識の向上を支援する連携
2017年から、モーリタニアの小規模な遠洋漁業改善プロジェクト(FIP)に、サプライヤーの社と地方自治体とともに共同出資を行っています。この取り組みは、モーリタニア国内外の科学者、モーリタニア政府、その他連盟と連携し、地元産業全体を支援することを目的としています。

[11] Sourcing ingredients sustainably – Protein sources used in pet food(原材料の持続可能な調達 – ペットフードに使用するタンパク源) | FEDIAF(欧州ペットフード工業会連合)(europeanpetfood.org)

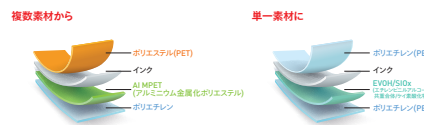
パッケージ戦略の実施

パッケージは製品の配送において重要な役割を果たしていますが、パッケージの廃棄物は海洋と地球の健康を脅かす世界的な問題です。マースにとって、パッケージ廃棄物は、地球が健全である世界を目指すビジョンと一致しません。持続可能なパッケージなくして持続可能な製品はありません。私たちは投資とイノベーションを通じて、循環型経済を支援する取り組みを行っています。パッケージ素材が廃棄物にならず、再利用・リサイクル・堆肥化される世界を目指しています。

この取り組みを推進するため、科学に基づいた積極的な戦略を打ち出し、循環型経済に敵応する製品設計を行っています。過剰なパッケージを排除し、PVCなどリサイクルが困難な素材を取り除き、可能な限りリサイクル素材を使用しています。

パッケージが必要な場合、再利用可能、リサイクル可能、または堆肥化可能なパッケージへと革新していきます。

リサイクル可能な設計のためのサプライヤーとの連携



パッケージのバリューチェーンのすべてのステークホルダーと連携し、ドライフードのパッケージを、リサイクルのための地域インフラでリサイクルできるよう設計された単一素材ポリエチレンパッケージに移行しています。さまざまな材料を使用したパッケージはリサイクルが難しいため、単一素材技術が不可欠です。

新しいパッケージ袋のデザインと構造により、ロイヤルカナンのパッケージが既存の地域の廃棄物回収・分別システムによって容易に識別され、リサイクルされる可能性を大幅に向上させることを目指しています。私たちの目標は、3,500を超えるリファレンスがあるドライ製品シリーズのすべてのパッケージを単一素材に変えることです。地域の廃棄物収集機関CITEOのようなパートナーであるサプライヤーとともに、次世代パッケージが完全にリサイクル可能であることを確実にするための研究開発に投資しています。また一方で、厳しいフードの品質・安全基準を満たし続けます。

[12]この目標は、ケミカルリサイクルの進展スピードと規模の拡大、および食品安全規制との整合性により変動します。

私たちの目的

100%



パッケージを100% 再利用可能、リサイクル可能、または堆肥化可能に

プラスチック製パッケージにリサイクル素材を30%含有^[12]。

30%



新しい「バージン」プラスチックの使用を

25% 削減

エレン・マッカーサー財団の「新プラスチック経済グローバルコミットメント」

再利用可能、リサイクル可能、堆肥化可能、バージンプラスチック(再生素材でないプラスチック)削減、リサイクル素材含有率の目標は、エレン・マッカーサー財団の「新プラスチック経済グローバルコミットメント」の一環として2019年に設定されました。このコミットメントは、責任ある行動を奨励し、すべてのパッケージを回収、リサイクルする集団的な取り組みを呼びかけるものです。イノベーションにより、バージンプラスチックの使用量を25%削減し、プラスチック製パッケージに平均30%のリサイクル素材を含有する^[12]ことを目標にしています。100%再利用可能、リサイクル可能、または堆肥化可能なパッケージにすることです。こうした取り組みが、高い品質・食品安全基準、及び製品のライフサイクル全体にわたり栄養価や鮮度を損なうことのないようにすることをお約束します。

パートナーシップを通じた リサイクルインフラの近代化

リサイクル素材の含有をポートフォリオに組み込むことは、バージンプラスチックの使用を削減する主要な手段です。
また、リサイクル素材を購入することにより世界的なインフラの成長を促し、パッケージがリサイクルされる可能性を高め、廃棄物にならない循環型経済の発展を支援するという私たちの目標を促進します。
再生プラスチックを原料とする食品用ポストコンシューマー樹脂(PCR)の供給量を増やすためには、食品生産者が安心・安全に使用できる品質の再生プラスチックを生産できる高度なリサイクル設備の導入に向けた取り組みが必要です。このようなりサイクルインフラのシステム全体の変革は、すべての関係者が協力し、食品用リサイクル素材の大規模な需要を創出しなければなりません。

そのため、ヨーロッパのCEFLEX(軟包装分野の循環型経済)やPlastic Pollution Coalition(プラスチック汚染連合)など、ヨーロッパにおける軟包装分野の循環型経済に取り組む協働イニシアティブに積極的に関与しています。

代替の回収拠点を開発し 消費者に回収と再利用を奨励

米国、カナダ、オーストラリアでは、回収拠点を通じて、選択したパッケージ袋の回収とリサイクルを奨励しています。こうした国では、既存のインフラで私たちが使用する種類のパッケージ袋をリサイクルできないため、TerraCycle®(テラサイクル)とのパートナーシップを開始しました。動物病院、ペットショップ、その他の販売拠点を含むさまざまな場所に回収ポイントを設置し、消費者に使用後のパッケージの返却を促しています。
4年以上前から試験的に行われ、米国では、ペット専門店、動物病院、獣医科大学など約5,000の参加拠点で、すでに42万5,000枚以上のパッケージ袋を回収しています。

再利用可能なパッケージの提供

不必要なパッケージをなくすもう1つの方法は、パッケージを再利用可能にすることです。私たちは多くのパートナーと協力して、パッケージ廃棄量を大幅に削減する完全循環型再利用システムを試験・導入しています。

その一例が、RePack社との協働です。オンライン小売業者とそのユーザーのために、宅配包装の返却と再利用を可能にするサービスで、宅配に持続可能なソリューションを提供しています。ペットオーナーはRePackの返却可能な包装でロイヤルカナンの注文品を受け取り、空になったRePack包装は郵便システムを通じて無料で返却できます。返却された梱包は洗浄して再利用します。

425,000



枚のパッケージ袋が
TerraCycle®の回収拠点で回収済

5,000

カ所の参加拠点は、
ペット専門店、動物病院、獣医科大学など



RePack包装はこの工程を最大20回まで繰り返すことができます。20回繰り返すと、RePack包装は使い捨てパッケージと比較しCO2を80%削減します^[13]。

2021年に試験的導入が成功した後、2022年6月からフランスで、毎月数千件の注文があるロイヤルカナインディヴィジュアリスの詰め替え注文向けにこの取り組みが開始されました。

エコフレンドリーなオフィスへ

私たちのオフィスの多くは、すでに現地の再生可能エネルギーから電力を調達しています。フランス・エマルグにあるグローバル本社では太陽光発電を行うなど、一部のオフィスでは、自社で電力を生産しています。

さらに、すべてのオフィスにはサステナビリティチャンピオンを配置し、オフィスとアソシエイトが環境に与える影響の低減を目指す「GoGreen」と呼ばれる現地の協力プログラムを牽引しています。GoGreenは、コミュニケーションやトレーニングから、廃棄物管理、エネルギー強度、オフィス内の空気質、そしていくつかの社会的パフォーマンスのパラメーターまで、100項目のスコアカードに基づいています。

エマルグ本社のアソシエイトの利益配分の10%は、GoGreenのオフィスプログラムの実績に基づいています。グッドプラクティスガイドを発行し、すべてのアソシエイトに配布しています。

ロイヤルカナン カナダ オフィス(オンタリオ州)の 取り組みの事例

- 11人の情熱的なチームメンバーで構成されるグリーンチームを創設
- 敷地内に5,000本の木を植え、森林を増加
- オフィス全体の照明をエネルギー効率の高いものにアップグレード
- 駐車場に車用の充電ステーション、新しい自転車ラックを設置
- ギェルフのコミュニティにおいてTrees for Lifeとのパートナーシップにより、305本の自生樹木と150本の自生の花を植樹

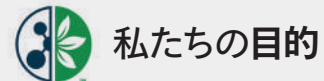
エマルグ本社で行われている 取り組みの事例

- 本社の敷地内に3つのミツバチの巣箱と2つの昆虫ホテルを設置し、生物多様性と固有種の保護に貢献
- アソシエイト向けに車の相乗りアプリを開発
- 本社の屋上にソーラーパネルを設置し、年間7万kwの電力を供給
- 本社があるキャンパスの駐車場に、電気およびハイブリッド自動車/自転車用充電スタンドを設置
アソシエイトには低炭素な交通利用を推奨
- 社用車は現在ハイブリッド車または電気自動車のみ使用可能



[13] <https://www.repack.com/impact/>

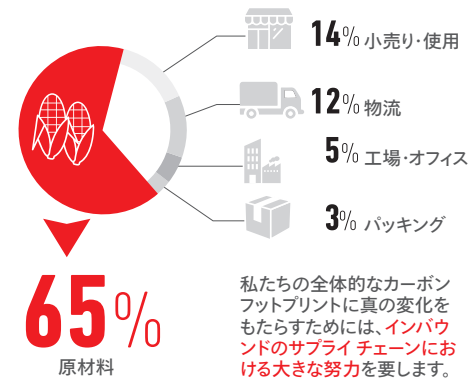
環境再生型農業： 環境目標を達成するための新しい方法



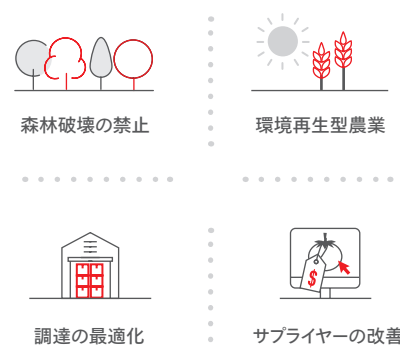
私たちの目的

ロイヤルカナンは、バリューチェーンにおける温室効果ガス排出をネットゼロにするための取り組みを加速させ、2025年末にカーボンニュートラル達成を目指しています。環境再生型農業は、カーボンフットプリントを削減するために開始した総合的な活動の一環です。

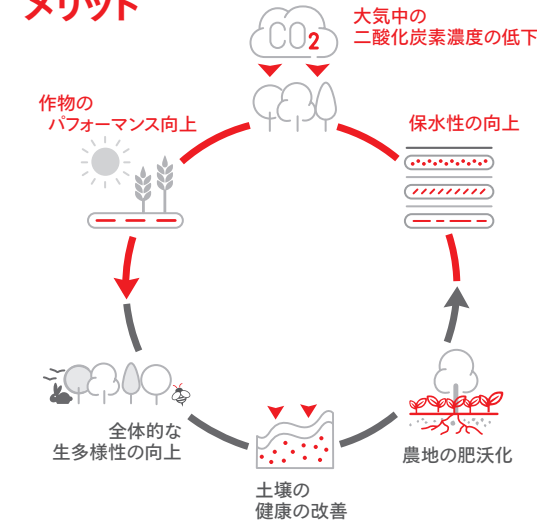
現在の カーボンフットプリント



気候変動に配慮した 原材料調達



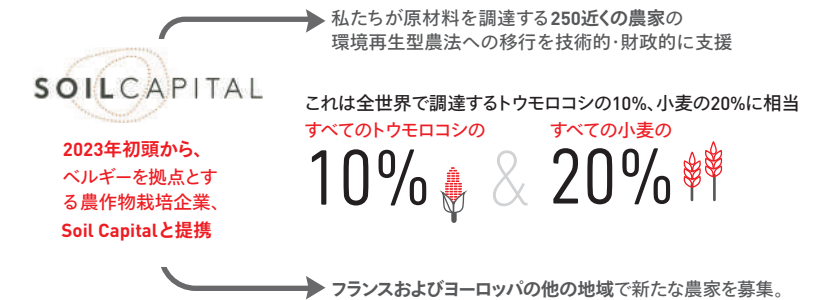
メリット



大きな目標

- 年間平均でおよそ15万トンの温室効果ガス排出を削減
- 最大30万ヘクタールの農地で環境再生型農業を採用する農家を支援

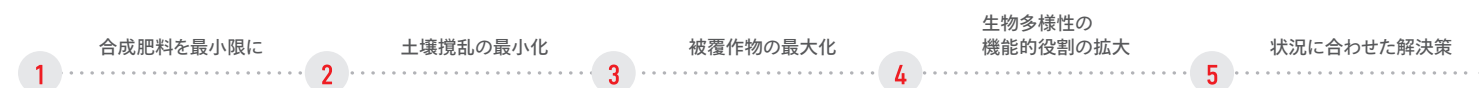
環境再生型農法の支援



他の主要な原材料
調達地域でも同様の
プログラムとパートナ
シップを展開：
北米、中南米、アジア



環境再生型農業



人々は 持続可能な 未来に向けた ビジョンの中心

これは私たちの組織においても同様です。アソシエイトに可能な限り最高の職場環境を提供し、チームが「持続可能な方法で考える」ことや、世界的な提唱者となることを奨励しています。



私たちのアクションは、国連の持続可能な開発目標(SDGs)に沿っています。

また、社外の人々との関係においてもこの理念を実践しています。ペットの健康とウェルビーイングへの情熱を原動力に、ブリーダーや獣医師などペットの専門家と長期的で有意義な関係を築き、犬や猫のための栄養学に基づいた高品質なフードを製造し、関連ツールやサービスを通じて、犬や猫の日々の活動をサポートしています。

さらに、事業を展開するすべての地域社会との連携を強化し、外部の社会的公正に取り組んでいます。このように、私たちのエコシステムの中に社会的および人的資本を構築し、私たちのビジョンを実現するための最も効果的な手段として、長期にわたる互恵関係を活用しています。





アソシエイトの ウェルビーイングとインクルージョン

アソシエイトの紹介

私たちのパーパス(存在意義)を達成するため、8,000人以上のアソシエイトがロイヤルカナンで働いています。500人の獣医師、科学者、栄養士の有資格者を含め、国籍、言語、文化などさまざまなバックグラウンドを持つ人々で構成されています。アソシエイトは、品質、責任、互恵、効率、自由の五原則を守っています。犬と猫の健康とウェルビーイングを向上させるという私たちのミッションの達成はアソシエイトの参画と献身に支えられています。

「アソシエイト」という言葉は、相互の信頼、尊敬、敬意を中心とした私たちの事業と社員との関係を定義しています。従業員として、あなたは他者のために働きます。アソシエイトとして、あなたは他者と協働します。

8,000
名以上の
アソシエイト



48
の国籍

14名のメンバーからなるグローバルリーダーシップチームは、8カ国の国籍で構成され、男女のバランスがとれています。8,000名のアソシエイトの国籍は、48カ国にわたります。そのため、オフィスや工場がすべてのアソシエイトにとって最高の職場環境になるよう努めています。

インクルージョン&ダイバーシティ(包容性と多様性):サステナビリティの推進力

アソシエイトがどのような人であろうと、どのような経歴であっても、大切にされていると感じられることがロイヤルカナンの誇りです。私たちは、包容性と多様性が持続可能な事業を創造する重要な推進力であることを理解しています。私たちは異なる視点やユニークな考え方を受け入れます。なぜなら、その違いが私たちをより良くしてくれると信じているからです。包容性と多様性の精神を浸透させるのは経営トップからです。そのため、管理職を対象に研修を行い、アソシエイト一人ひとりを尊重し、キャリア形成を可能にするウェルカムでオープンな環境をつくっています。

すべての事業拠点において、文化的な受容性が根づいた環境づくりのために独自の措置を講じており、オープンな協働とコミュニケーションを奨励しています。

#ICANBEME

マース グローバルの受容性と多様性戦略の一環として、ロイヤルカナンでは、帰属意識、敬意、そして違いを尊重することを推進しています。これにより、誰もが適切なリスクを取り、最善の仕事をして、お客様に最善のケアを提供できるようサポートされていると感じることができます。私たちは、アソシエイトが自分たちのリソースグループをつくることを奨励し、アソシエイト主導の取り組みを生み出す予算を提供することで、組織全体の受容性と多様性を促進しています。障がい者、女性、黒人、アジア人、ラテン系コミュニティ、LGBT、若い世代と高齢者の両方の代表性を高める取り組みを奨励しています。



健康とウェルビーイング： エマルグ本社の現状

- グループ スポーツ プログラム
- 職場でリラックスできるヨガクラスや、昼休みに新しい屋外ワークアウトエリアでトレーニング器具を使用。
- 必要に応じて照明のない静かな場所で休憩できる仮眠室などアソシエイトのウェルビーイングを促進する新しいスペース、集中力を高めるために仕事環境を変える必要がある人のためのサイレントワークスペースも新設。
- 2021年から、障がい者委員会がアソシエイトとその介護者をサポート。ワークスペースの調整、事務手続きのサポート、アソシエイトの権利に関する情報提供を支援。
- ル マゼ(Le Mazet)にある保健室では、月に2回火曜日に、ソーシャルアシスタントがメンタルヘルスのサポートを必要とするアソシエイトに寄り添って話を聞くソーシャルサービスを創設。
- 若い母親の権利、平穩、プライバシーを尊重するために授乳室を設置。

私たちの拠点は責任ある職場

健康は私たちにとって北極星のようなものです。これには、アソシエイトの身体的、精神的健康も含まれます。Mars Be Wellプログラムでは、持続可能で健康的かつ活力のある職場文化を創造することに尽力しています。

工場では、「Mars Responsible Workplace(マースの責任ある職場)」というプログラムを導入しています。このプログラムは、世界中の職場で働くアソシエイトの人権尊重と労働環境の改善に向けた取り組みを理解し、実行するためのものです。成功を称え、改善すべき領域を特定するために、レスポンシブルワークプレイス・アセスメントを実施しています。

ペットフレンドリーオフィス

「International Journal of Workplace Health Management* (職場健康管理の国際ジャーナル)」に掲載された研究によると、職場に犬を連れてくる人は、同僚よりもストレスが少なく、仕事に対する満足度が高いことが分かっています。アソシエイトは職場に犬を連れて出勤することを奨励されており、私たちはアソシエイトとペットの双方にとって好ましい環境をつくるために、施設や方針を継続的に改善しています。

またアソシエイトがペットセンターにいる犬1頭の世話をできるペット スポンサーシップ プログラムもあります。このプログラムはアソシエイトに良い影響を与えるだけでなく、ロイヤルカナンでの役目を終え、里親に引き取られる前に、ペットが社会性を身につけるために良い方法です。中国オフィスはキャットフレンドリーです。アソシエイトは猫を職場に連れてくることができます。

*ベルギー、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、アイルランド、イタリア、ノルウェー、ポルトガル、スペイン、スウェーデン、オランダ、イギリス。

自分たちで設定した目標に対する
パフォーマンスを定期的に評価：



すべてのリーダーシップチームは男女のバランスがとれていなければなりません。つまり、リーダーシップにおける男女比は50対50です。

リーダーシップ
チームが、事業を
展開する市場の
国籍と民族性を
反映することを保証します。



100
本社では、100頭の犬が来て
滞在することが認められています。



人的資本への投資

ペット、地球、そして人々のために私たちが思い描く持続可能な未来は、私たちの組織内および広いエコシステム全体の両方において、将来必要とされる知識と技能に投資することによってのみ実現することができます。私たちの人的資本への投資は、SDGsの目標4(質の高い教育)に沿ったものであり、アソシエイトの個人的な能力開発と、ビジネスモデルを構築している外部のステークホルダーに提供する研修・教育サービスの両方を含みます。

アソシエイトのための個人能力開発プラン

私たちはアソシエイトを大切に、アソシエイトが事業にもたらす素晴らしい貢献を評価しています。ですから、彼らの将来に投資することは当然のことと考えています。アソシエイトが自分の役割の中で成長し、私たちのデジタル学習、優れた実用的学習機関、受賞歴を持つリーダーシッププログラムにアクセスする機会を与えることで、自分のキャリア開発に主体的に取り組むことができます。

そのため、アソシエイトは、毎年「個人能力開発プラン」を作成し、業務役割および個人の能力開発目標についてマネージャーと合意します。個人能力開発プランの一環として、アソシエイトはマース ユニバーシティを通じて、ハーバード大学のような外部パートナーが提供する最高レベルのコースを含む幅広い学習プログラムを利用することができます。

ビジネス上の倫理規範

私たちは、贈賄の供与・受領・許可を含むあらゆる形態の腐敗行為を禁止しています。販売業者、通関業者、その他のサプライヤー等すべてのビジネスパートナーが、私たちに代わって行動する際、私たちと同じ基準を守ることを期待します。これらの期待事項は、サプライヤー行動規範^[14]に詳述されています。



「アソシエイト向け倫理とコンプライアンスガイド」では、商業賄賂を含むあらゆる形態の腐敗行為の禁止を明確に規定しています。アソシエイト向けのトレーニングでは、腐敗に関連するリスクを特定し、そのリスクを効果的に軽減することができるようサポートします。またサプライヤー行動規範では、すべての直接・間接サプライヤーに対して、米国海外腐敗行為防止法および英国贈収賄防止法を含め、該当する法的要件を遵守することを義務付けています。

エコシステムにおける人財の育成

エコシステムにおける人財の育成は、私たちが活動する地域社会との連携を強化し、より協力的で環境に優しく繁栄するエコシステムを促進する方法の1つです。私たちはブリーダー、獣医師、ペット専門店などの推奨者や販売者の広範なネットワークと密接に協力し、犬と猫の真のニーズに関する知識を高め、適切な栄養学に基づいた解決法を協働して見つけ出します。この知識を共有するために、私たちはペットの専門家を対象に、動物のケア、肥満の認識、バランスのとれた食事の利点、室内中心のライフスタイルが動物や動物の栄養ニーズに及ぼす影響など、様々なテーマで毎年何百もの講演を行っています。

ペットの専門家が持続可能な活動を行うための支援

毎年、モンペリエ(フランス)で開催するグローバル・イベントでは、世界中の獣医師が科学的・経営的経験を比較し、成功事例を共有しています。

ペテリナリー シンポジウム

2022年、初のハイブリッド形式でのペテリナリー シンポジウムを開催。23カ国から150名のゲストが対面で参加し、119カ国から5,200名がこのデジタル イベントにアクセスしました。



学生および若手卒業生のための専用プログラム

獣医師が大きなストレスに直面し、その多くが獣医師を辞めようと考えていることが独自調査で明らかになりました。

ロイヤルカナンでは、パートナーである獣医師が成長できるようにしたいと考えています。ここ数年、若い獣医師のレジリエンス(困難や予測不能な状況に上手く適応する力)を高めることを目的とした多くの社内プロジェクトに携わってきました。私たちは、この分野の多くの外部専門家とも提携しています。

今後3年間で、若い獣医師のレジリエンスを向上させ、最終的に臨床における獣医師の定着率を向上させる大学院修了証明書の構築を目指しています。

この大学院修了証明書で網羅する3つの主要な領域は以下のとおりです。

- 獣医師のレジリエンス、コミュニケーション、非技術的スキル
- ビジネス/栄養学スキル
- メンタルヘルス(獣医師メンタルヘルス心理学者と協力)

2021年初頭から、24カ国から162名の獣医師がパイロットプログラムに参加しています。



PROactive(プロアクティブ)

ブリーダーはロイヤルカナン創業以来のパートナーです。ペットの専門家が健全で持続可能な活動を行なえるようPROactiveという取り組みを開始しました。専用セミナー、デジタル学習コース、実践的なアドバイスなどさまざまなツールを通じて、ブリーダーに貴重なスキルと知識を提供しています。(PROactiveに関する詳細は8ページをご覧ください。)



世界中に

160



名以上のサイエンティフィック コミュニケーション アソシエイト (学術担当)

そのうち約

95%

が獣医師

獣医師のアソシエイトが、社内外のステークホルダーを対象に教育・研修を実施

[14] <https://www.mars.com/about/policies-and-practices/supplier-code-of-conduct>

地域社会との関係強化

ロイヤルカナンでは、重要な原則の1つとして「互恵」を推進しています。

アソシエイトが私たちのサステナビリティへの取り組みに関する主要な提唱者であることを望んでいます。また、世界中のアソシエイトに、世界中で強力なパートナーシップを構築しながら、スキルと能力を開発する機会を与えたいと考えています。

さらに事業を展開するすべての地域社会との連携を強化することで、外部の社会的公正に取り組み、より協力的な環境に優しく、繁栄するエコシステムを促進することを目指しています。私たちは、人々と地球のために活動することが、企業、社会、環境に新たな機会を創出すると信じています。

サプライヤーとの関係

私たちは、サプライチェーンにおいてプラスの社会的影響を与えることに多大な関心を寄せています。

パートナーやサプライヤーとの長年にわたる関係はサステナビリティの目標を達成するための重要な鍵です。

マース ボランティアプログラム

マース ボランティア プログラム(MVP)は、アソシエイトがボランティア活動に参加し、事業所や製品調達先がある地域社会に貢献できる世界規模の取り組みです。

アソシエイトは勤務時間の一部をボランティアに充てることができます。MVPはアソシエイトのエンゲージメントを高め、専門的な能力開発の機会を提供し、チームの士気を高め、地域社会のパートナーとの強いつながりを築くのに役立ちます。

2015年にこのプログラムを開始して以来、アソシエイトは100万時間以上をボランティア活動に費やし、私たちが望む未来の世界に向けて真の影響を与えることに役立っています。

マース アンバサダープログラム

マース アンバサダープログラム(MAP)はロイヤルカナンのコミュニティ活動戦略の中核であり、私たちのパーパス(存在意義)をいかに実現するかを示す強力な活動です。マース アンバサダープログラムを通じて、アソシエイトは、私たちのビジネスに貢献する地域社会において、真の持続可能な変化をもたらすことに貢献する機会を得ています。

マース アンバサダープログラムは、2022年にハイブリッドプログラムとして開催されました。このプログラムでは、50名のアソシエイトが15のパートナー組織での20のアサイメントに参加しました。アソシエイトは、対面またはバーチャルのアサイメントのどちらかに申し込むことができました。自分が働いている地域で行われるアサイメントに申し込むことができ、連携する国とパートナー組織のCOVID規則に従う必要がありました。

390 団体の
NGO

コロナ禍を通して、マース ペットケアが支援したシェルターと慈善団体



50 名の

マース インコーポレーテッドのアソシエイトが選ばれ、2022年のMAPに参加

700 万ドル

以上の寄付を、マース ペットケアがコロナ禍を通して実施



● ロイヤルカナン 財団

ロイヤルカナン財団は、2020年12月8日に登録された非営利団体です。3つの重点分野で犬と猫が人間の健康とウェルビーイングの向上に貢献するプロジェクトを支援することを目的としています。

- 使役犬の健康と福祉
- 医療分野で人の健康に貢献するペットたち
- 人の心の健康をサポートするペットたち

毎年、年間サイクルの中でプロジェクトが提出され、ロイヤルカナンの8,000名以上のアソシエイトによる投票で、8から15のプロジェクトが選出され資金支援を受けています。



ロイヤルカナン財団に関する詳細:
www.royalcaninfoundation.org

2021年のプロジェクトは2つの主要分野を網羅:

- ▶ **プロジェクト数:**3つのプロジェクトを選出
- ▶ **地域:**プロジェクトは3カ国(フランス、イギリス、ポーランド)で展開

専門領域:

- ▶ **医療探知犬の研究:**
- イギリスにおける医療探知犬による新型コロナウイルスの判別
- 嗅覚の5つの主要な側面に関する研究に基づいて、フランスのキュリー研究所と医療検出に取り組んでいる科学者やドッグトレーナーが利用できるツールボックスを用意。2022年末に最初の科学論文を発表 (A Systematic Review)



▶ ポーランドのPo To Jestemと共同で、特別に訓練された犬と共に、自閉症の子どもたちが基本的かつ普遍的な非言語コミュニケーションを習得するのを支援しています。

このパートナーシップにより、団体のプロジェクトを拡大し、補助犬の頭数を50%増やすことができました。また5つの新しい部室を増設して、教室、オフィス、トレーニングエリアとして使用し、毎週最大30人の自閉スペクトラム症(ASD)の子どもたちを迎え入れ、ポメラニアン医科大学とこの方法論の研究を開始しました。

2022年、財団は以下のとおり拡大:

- ▶ **プロジェクト数:**8つの新しいプロジェクトを選出
- ▶ **地域:**新たに6カ国でプロジェクトを展開し、4大陸で新たな団体を支援

専門領域:

- 司法の場の介助犬(Legal Assistance Dog)は、法的手続きのすべてのプロセスを通じて、精神的なサポートを提供。このプログラムは、France Victimes(フランス被害者連盟)とのパートナーシップのもと、Jurisdictions, Handi'Chiens、Foundation Sommerと協力して、フランスの裁判所で展開
- 救助犬:ボランティアとメキシコの救助隊BREC-K9の犬たちとともに人命を支援。そして、Dodobahati Associationとともに、アフリカのヴィルンガ公園で密猟を減らすために、犬と森林警備隊員の団体が活動
- 補助犬・セラピー犬:ASDの子どもや医学的/精神的疾患を抱える人々を支援する5つのプロジェクト

